

「鹿嶋市」 橫斷歩道橋長寿命化修繕計画

令和4年11月

鹿嶋市 都市整備部 施設管理課

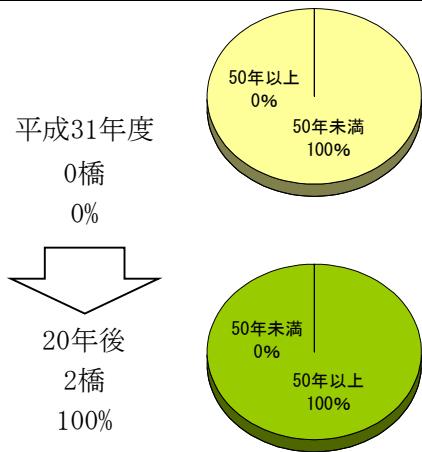
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

鹿嶋市が管理する横断歩道橋は、平成31年度現在で2橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の0%を占めており、20年後には、100%に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで鹿嶋市では、将来的な財政負担の低減および利用者の安全性・快適性が確保され第三者被害の軽減を図るために、横断歩道橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	市道	合計
全管理橋梁数	0	0	2	2
うち計画の対象橋梁数	0	0	2	2
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成31年度計画策定橋梁数	0	0	2	2

長寿命化修繕計画の対象：

- ・近隣に重要な施設がある橋梁
- ・桁下に道路がある橋梁
- ・バス路線に位置する橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに変状等の状態及び健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール車による目視点検や清掃などの実施する。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

従来の事後的（対症療法的）な保全ではなく、計画的な予防保全により橋梁を延命化することで、修繕・架替えにかかる維持管理費の縮減を図る。

また、管理している2橋について、集約撤去を検討した結果、近隣に小学校があり、通学路として使用されているため、いずれも撤去が難しい。今後30年計画で地域の情勢等に配慮しながら撤去を検討し、将来的な維持管理コストを100万円程度縮減することを目標とする。

5. 新技術等の活用に関する基本的な方針

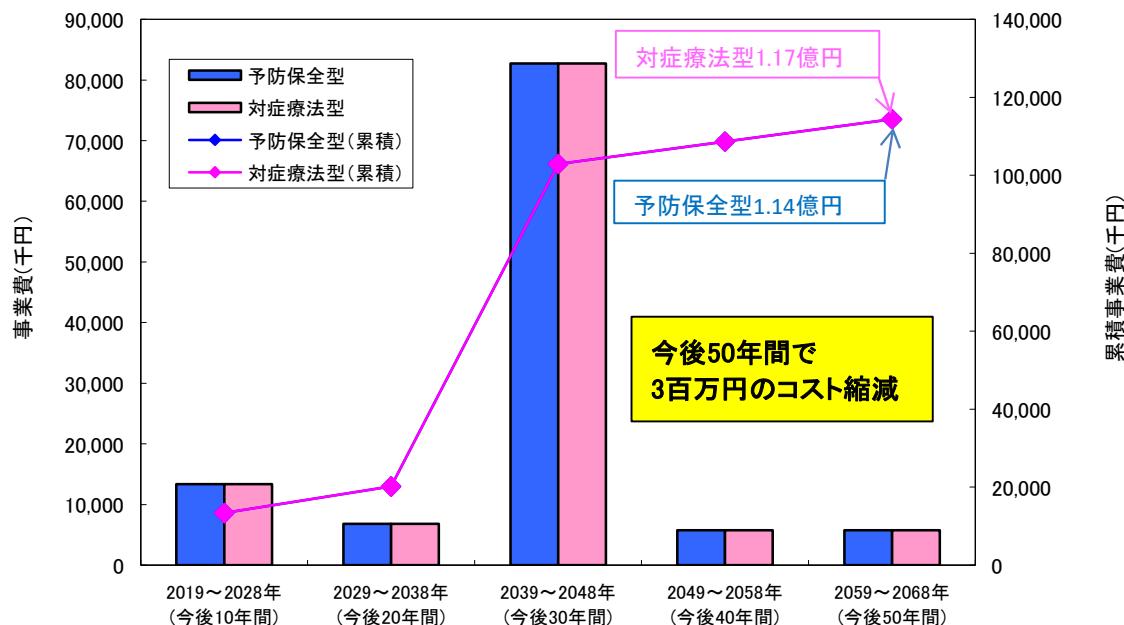
点検については、情報通信技術（ＩＣＴ）やドローンなどの新技術の活用を検討するとともに、点検・診断技術の高度化・効率化に取り組むことで、維持管理に必要なデータ収集の効率化や点検費用の削減等を図り、令和10年度までに従来技術と比較して約100万円程度のコスト縮減を目指す。

修繕についても、塗装塗替の材料等に積極的に新技術の活用を検討し、従来工法と比較して確実性・費用対効果が見込めるものについては採用していく。

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する2橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が1億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が1億円となり、コスト縮減効果は3百万円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、利用者の安全性・快適性が確保され第三者被害の軽減を図れる。



7. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

鹿嶋市 都市整備部 施設管理課 tel : 0299-82-2911